

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	環境ライフスタイル普及小委員会	主 査 名：菅原 正則 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：中村 勉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、環境配慮建築（ハードウェア）が環境負荷低減を実現するために必要となるライフスタイル（ソフトウェア）の啓発普及と教育に主題を置いて、その方法と実践事例を収集・体系化するとともに、その成果を学校教育や建築教育、生涯教育など、広く教育現場に還元し、環境配慮型ライフスタイルの実践・普及を目的とする。</p> <p><初年度>①大会関連行事として住環境教育体験セミナーを企画・実施。 ②住環境教育に関する実践事例の収集・分析、教育プログラムの評価・開発。 <2年度>③住環境教育テキストの叩き台を作成し、出版企画につなげる。 ④住環境教育に関する実践事例の収集・分析、教育プログラムの評価・開発。 ⑤環境ライフスタイルのあり方についての情報交換・勉強会。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：初年度に実施</p> <p>菅原正則（宮城教育大学）、田中稲子（横浜国立大学）、高橋達（東海大学）、斉藤雅也（札幌市立大学）、宿谷昌則（東京都市大学）、篠節子（篠計画工房）、妹尾理子（香川大学）、高柳有希（㈱UR リンケージ）、谷口新（大妻女子大学）、中島裕輔（工学院大学）、西川竜二（秋田大学）、平石年弘（明石工業高等専門学校）、廣瀬和徳（㈱教育環境研究所）、村田昌樹（OMソーラー㈱）、吉野泰子（日本大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 荻窪小学校エコ施設解説ツアー（5/11）への支援 2. 東京建築士会環境委員会および大田支部との協働事業「身近な環境のようすを知る～風通しの観察（7/28 久原小）」「照明あてクイズに挑戦～賢い照明法を学ぶ（7/30 矢口小）」「感じてみよう電気の力～エネルギーを発見する（8/5 道塚小）」 3. 親と子の都市と建築講座 2016（学会創立 130 周年記念事業）「世界の住まいから夏のくらしを学ぼう（7/23）」の後援
大会研究集会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低炭素型建築ライフスタイルによるスマート化社会の未来（8/25）におけるパネラー 2. 縮小時代に向けた低炭素型建築とまちづくりの取り組みと実践（8/26）におけるパネラー
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の活動計画について、③については進展がなかった。④は東京建築士会との協働事業や親と子の都市と建築講座 2016 において、委員が教育プログラムの実践を行った。⑤は大会研究集会や委員会において実施された。 2. 主査の長期海外滞在のため、委員会開催回数が少なくなったが、環境ライフスタイルの実践・普及という主目的は、今年度も達成されたと考えている。
委員会活動の問題点・課題	活動計画として掲げた、住環境教育テキストの叩き台作成および出版企画準備について、今期目立った進展はなかったが、設置申請中の後継委員会へ引き継ぎ、これまで蓄積した委員会の成果を取りまとめる必要がある。